

今回のテーマ

一つ一つを整理して考えてみよう

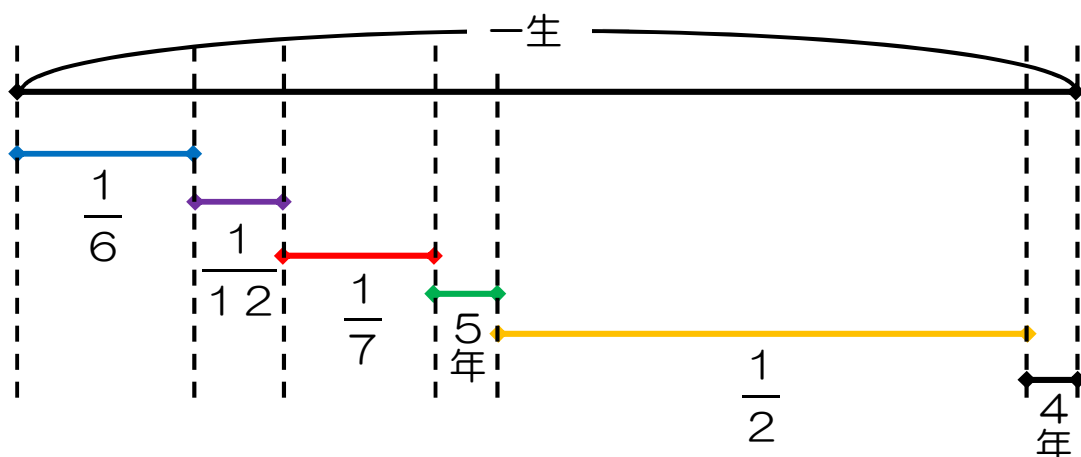
アレクサンドリアのディオファントス（古代エジプトの数学者）
という人のお墓にはこう書かれていたそうです

彼の人生は、
6分の1が少年時代だった。
12分の1が青年期であり、
その後に人生の7分の1が経って結婚した。
結婚して5年で子供に恵まれた。
ところが、その子は彼の一生の半分しか生きられずにこの世を去った。
また、自分の子を失って4年後に彼もこの世を去った。

さて...
彼は何歳で亡くなったのでしょうか？

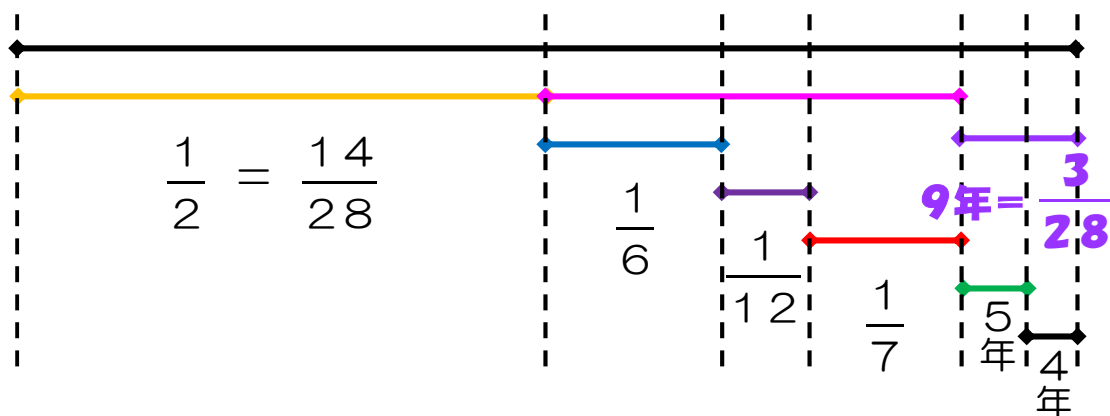
解説

数直線に表してみると、彼の一生はこのようになります。



青＋紫＋赤＋緑（5年）＋黒（4年）＝一生の $\frac{1}{2}$ ということは・・・

ちょっと入れ替えてみると、下の図のようになります



$$\frac{1}{2} - \left(\frac{1}{6} + \frac{1}{12} + \frac{1}{7} \right) = \frac{3}{28} \quad \text{に当たる年数が 9 年なので}$$

$$\frac{1}{28} \quad \text{に当たる年数は} \quad 9 \div 3 = 3 \text{ 年} \quad \text{になる}$$

ということで彼の一生はその28倍なので

$$3 \times 28 = 84 \quad \text{で} \quad \underline{\underline{84 \text{ 年}}}$$

このように、数直線の図になおして整理してみるといいこともたくさんあります。

でも、古代の人がこんなことを考えていたなんて、ちょっと驚きですね。

新しい問題は また来週 ♪